

〈 セミナーのご案内 〉

● 配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回覧

--	--	--	--	--

高等教育活性化シリーズ 343 (通算 675 回)

2017 年 3 月 22 日 (水)

科学イノベーションを拓く——

大学研究力の強化方策とその展開

高等教育活性化シリーズ 345 (通算 677 回)

2017 年 4 月 18 日 (火)

公正研究への大学の経営責務——

大学評価における研究倫理教育と新展開

科学イノベーションを拓く——

大学研究力の強化方策とその展開

～科研費改革／共同・受託研究推進／クラウドファンディング等～

- ※ 学術研究のファンディング／学術分科会報告／科研費改革 2018 の具体方策／研究活動の健全化
- ※ 産学研究強化ガイドラインのポイント／東京医科歯科大学の強化策／利益相反Mの高度化
- ※ [山形大] スタートは危機意識／サイエンス～プロセス～ビジネスイノベーションの体制と実績
- ※ [徳島大] クラウドファンディングによる資金調達の実際／「OTSUCLE」運営と大学支援機構の役割

● 講 師 ●

家 泰弘氏 / (独) 日本学術振興会 理事
飯田香緒里氏 / (国) 東京医科歯科大学 教授 産学連携研究センター長
大場 好弘氏 / (国) 山形大学 社会連携担当 理事 副学長 COC 推進室長
佐野 正孝氏 / (国) 徳島大学 学長補佐
(一社) 大学支援機構 理事長

2017 年 3 月 22 日 (水) 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)

公正研究への大学の経営責務——

大学評価における研究倫理教育と新展開

～CITI Japan から APRIN への事業継承／教育盛夏の質保証～

- ※ 上意下達文化からの脱却／ボトムアップの教育へ／倫理教育責任者の役割／APRIN 事業への継承
- ※ e-Learning 教材の開発状況と今後の拡充／医学・理工・人社系 90 単元の作成ガバナンス／教育融合
- ※ 公正研究推進協会 (APRIN) ～会員制と運営方式／教材配信システムの拡充／倫理教育の実質化
- ※ 研究倫理の実質化～人文・社会科学分野／研究不正定義とケース／責任ある研究のルールと運用

● 講 師 陣 ●

福嶋 義光氏 / CITI Japan プロジェクト 事業統括
(一財) 公正研究推進協会 (APRIN) 理事
野内 玲氏 / CITI Japan プロジェクト 事務局 助教
戸谷 秀一氏 / CITI Japan プロジェクト 事務局 コーディネーター
(一財) 公正研究推進協会 (APRIN) 評議員
羽田 貴史氏 / (国) 東北大学 総長特別補佐 (研究倫理担当)

2017 年 4 月 18 日 (火) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)



[参加要領]

日時： ■高等教育活性化シリーズ 343 大学研究力の強化方策とその展開

2017年3月22日(水) 10:00~16:50

会場：日本教育会館 会議室(東京・神保町) 千代田区一ツ橋 2-6-2 TEL 03-3230-2833
(東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町駅」A1出口より徒歩3分 <http://www.jec.or.jp/koutuu/>)

日時： ■高等教育活性化シリーズ 345 大学評価における研究倫理教育と新展開

2017年4月18日(火) 10:00~16:40

会場：剛堂会館(明治薬科大学) 会議室(東京・麹町) 千代田区紀尾井町 3-27 TEL 03-3234-7362
(東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩4分、または JR 中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口より徒歩10分)

参加費	ご一名(資料代を含む)	メディア参加(資料及び音声 CD)
高等教育活性化シリーズ 343 大学研究力の強化方策とその展開	41,000 円(税込) 高等教育同人 21,000 円(税込)	42,000 円(税、送料込) 同人 22,000 円(税、送料込)
高等教育活性化シリーズ 345 大学評価における研究倫理教育と新展開	40,000 円(税込) 高等教育同人 20,000 円(税込)	41,000 円(税、送料込) 同人 21,000 円(税、送料込)

※メディア参加とは会場に来られない方の参加形式で、開催後に当日配布資料及び音声 CD を送付します。

※なお、当日参加とともに、音声 CD をご希望の方には、特別割引いたしますのでお問い合わせ願います。

※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 *郵便振替：00110-8-81660

口座名 (株)地域科学研究会

(ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は⇒<http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/> E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp

☆高等教育計画経営研究所同人は KKJ の HP でご確認ください。

☆ご案内をパンフからメールにシフトしております。ご登録くださいませ。

お申込み・お問合せ



地域科学研究会
高等教育情報センター

東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

2017年 月 日

(□に✓印を入れてください)

- 高等教育活性化シリーズ 343
大学研究力の強化方策とその展開
- 高等教育活性化シリーズ 345
大学評価における研究倫理教育と新展開

- 一般 同人
- 当日参加 メディア参加
- 一般 同人
- 当日参加 メディア参加
- 支払方法 当日払い 銀行振込 郵便振替
- 必要書類 請求書 見積書

勤務先 _____

〒

連絡部課・担当者名 _____

所在地 _____

メールアドレス _____

TEL _____ FAX _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義内容
10:00) 11:30	<p>□ 学術研究の健全な発展に向けて ～我が国の学術研究システムの課題と改革～</p> <p style="text-align: right;">日本学術振興会 家 泰弘</p> <p>1. 学術研究システム</p> <p>(1) 学術研究システムの諸要素 (2) 学術研究のファンディング</p> <p>(3) 科学技術統計データの国際比較</p> <p>2. 科学研究費助成その他の事業</p> <p>(1) 科研費改革 2018 (2) 人材育成</p> <p>(3) 大学改革 (4) 国際交流</p> <p>3. 研究活動の健全化</p> <p>(1) 研究不正について (2) 研究倫理啓発教材 <質疑応答></p>
11:40) 13:00	<p>□ 大学産学連携力強化の戦略シナリオと具体方策 ～「共同研究強化ガイドライン」/東京医科歯科大学の取組み～</p> <p style="text-align: right;">東京医科歯科大学 飯田香緒里</p> <p>1. ガイドライン策定の背景</p> <p>(1) 我が国の産学連携の現状 (2) ガイドラインの概要</p> <p>2. 大学産学連携力強化の戦略シナリオ：東京医科歯科大学の場合</p> <p>(1) 本部機能の強化 (2) 資金の好循環</p> <p>(3) 知の好循環 (4) 人材の好循環</p> <p>3. 産学連携リスクマネジメントの重要性</p> <p>(1) 研究活動と法令 (2) 契約の重要性</p> <p>(3) 求められる利益相反マネジメントの高度化</p> <p style="text-align: right;"><質疑応答></p>
14:00) 15:20	<p>□ [山形大] 産学官金連携の推進体制と実績 ～共同研究費受入額伸び率が2年連続全国一位への歩み～</p> <p style="text-align: right;">山形大学 大場 好弘</p> <p>1. スタートは危機意識から</p> <p>(1) 地方大学工学部の最大の危機 (2) 逆転の発想と目標設定</p> <p>(3) 組織を変え、意識を変える</p> <p>2. サイエンスイノベーションの実行</p> <p>(1) 有機エレクトロニクス研究所 (ROEL) (2) 地域卓越研究者戦略的支援プログラム</p> <p>(3) テニートラック</p> <p>3. プロセスイノベーション</p> <p>(1) 有機エレクトロニクスイノベーションセンター (INOEL)、 先端技術実証・評価設備整備費等補助金 (蓄電デバイス実証設備)</p> <p>(2) 地域イノベーション戦略支援プログラム</p> <p>(3) 産学イノベーション促進事業 (産学コンソーシアム事業)</p> <p>4. ビジネスイノベーションへの展開</p> <p>(1) 山形大学有機材料システムフロンティアセンター (FROM)</p> <p>(2) フロンティア有機システムイノベーション拠点 (COI)</p> <p style="text-align: right;"><質疑応答></p>
15:30) 16:50	<p>□ [徳島大] クラウドファンディングによる研究資金調達の実際 ～(一社)大学支援機構と「OTSUCLE」運営に～</p> <p style="text-align: right;">徳島大学 佐野 正孝</p> <p>1. クラウドファンディングについて</p> <p>(1) 日本のクラウドファンディングの類型</p> <p>(2) 大学が行うクラウドファンディング</p> <p>2. 徳島大学のクラウドファンディング</p> <p>(1) 民間サイトに参加した時期の徳島大学の事例</p> <p>(2) 独自のサイト OTSUCLE の開発、運営を開始した経緯、法人経営について</p> <p>(3) OTSUCLE の取り扱っている事例と仕様</p> <p>(4) 研究への支援を得るには</p> <p>3. 今後の大学系クラウドファンディングなど</p> <p>(1) 文化、市場の形成</p> <p>(2) クラウドファンディングを超えていくこと</p> <p style="text-align: right;"><質疑応答></p>

時間	講義項目
10:00 } 11:50	<p>□ 上意下達の文化からの脱却をめざす研究倫理教育とは ～CITI Japan の実績と APRIN への事業継承～</p> <p style="text-align: right;">CITI Japan 福嶋 義光</p> <p>1. ボトムアップの研究倫理教育 (1) 研究倫理教育の目的は「研究不正の防止」ではない。 (2) 規制教育 → 暗記 → 違反した場合には厳罰(ルールを破らなければ処罰されないで、やっていい?) (3) 「倫理」とは理想の姿をめざすもの (4) 理想の行動規範を研究者自らが考えるようにするためには</p> <p>2. 研究倫理教育責任者の役割 (1) 研究倫理を学ぶきっかけを与える (2) 学習の場, 教育教材を提供する (3) 定期的に振り返りの機会を設ける (4) 強制でやらせるのではなく, 自らが学ぶモチベーションの維持を支援</p> <p>3. CITI Japan の実績と APRIN への事業継承 (1) 教材の質保証のための教材作成ガバナンスと PDCA (2) 履修者を対象としたアンケート調査 (3) 638 大学・研究機関等で 46.7 万人超の登録実績から会員制の新組織へ (4) 大学・研究機関におけるアカデミックオートノミーとは 〈質疑応答〉</p>
12:00 } 13:00	<p>□ e-Learning 教材の開発状況と今後の拡充 ～医学系・理工系・人社系 90 単元の作成ガバナンス～</p> <p style="text-align: right;">CITI Japan 野内 玲</p> <p>1. CITI Japan e-learning の開発 (1) 米国 CITI PROGRAM との関係 (2) 連携 6 大学の役割 (ガバナンス) (3) 外部協力教員による査読のプロセス (4) 教材の web 化と意見募集</p> <p>2. CITI Japan e-learning の特徴 (1) 各領域の教材内容の概要 (2) 利用者からの意見への対応 (3) 教材の改訂 (4) 他の研究倫理教育教材との差別化</p> <p>3. 今後の教材拡充・展開 (1) 既存教材の改訂のポイント (2) 新規教材の開発計画 (3) APRIN での教材査読体制 (4) e-learning 以外の教育形態との融合 〈質疑応答〉</p>
14:00 } 15:20	<p>□ 次期 e-Learning システムのデザインと APRIN の事業展開 ～教材配信事業の仕組み/会員制と運営方式～</p> <p style="text-align: right;">CITI Japan 戸谷 秀一</p> <p>1. (一財) 公正研究推進協会 (APRIN) の仕組み (1) 会員の種類と権利 (2) 会費及び利用料金 (3) 入会手続き等 (4) 会員申込等スケジュール</p> <p>2. 次期 e-Learning システムのデザイン (1) 次期 e-Learning システムの目的と特長 (2) 会員制度と e-Learning の管理体制 (3) 各ユーザの役割と機能 (4) 新システム移行スケジュール</p> <p>3. 利用継続意向調査結果と会員参加のメリット (1) 倫理教育教材選定のためのキーワード (2) 利用継続状況 (3) APRIN 加盟のコストパフォーマンス 〈質疑応答〉</p>
15:30 } 16:40	<p>□ 研究倫理の実質化に向けた課題と取り組み ～人文・社会科学分野を中心に～</p> <p style="text-align: right;">東北大学 羽田 貴史</p> <p>1. 分野によって研究倫理は異なるか? (1) 分野による多様性と共通性 (2) 分野による不正の状況</p> <p>2. 研究不正定義の課題 (1) FFP に限らない現状 (2) FFP はプロセスも含むか (3) 不適切なオーサiershipをどう評価するか (4) 二重投稿をどう評価するか</p> <p>3. 責任ある研究を進めるためのルールの課題 (1) 人文・社会科学分野における同意の位置 (2) 個人情報保護と研究データの保存</p> <p>4. ケースを読む ～文科省公表の特定不正行為事案の検討から 〈質疑応答〉</p>